

唐土割蒙圖彙

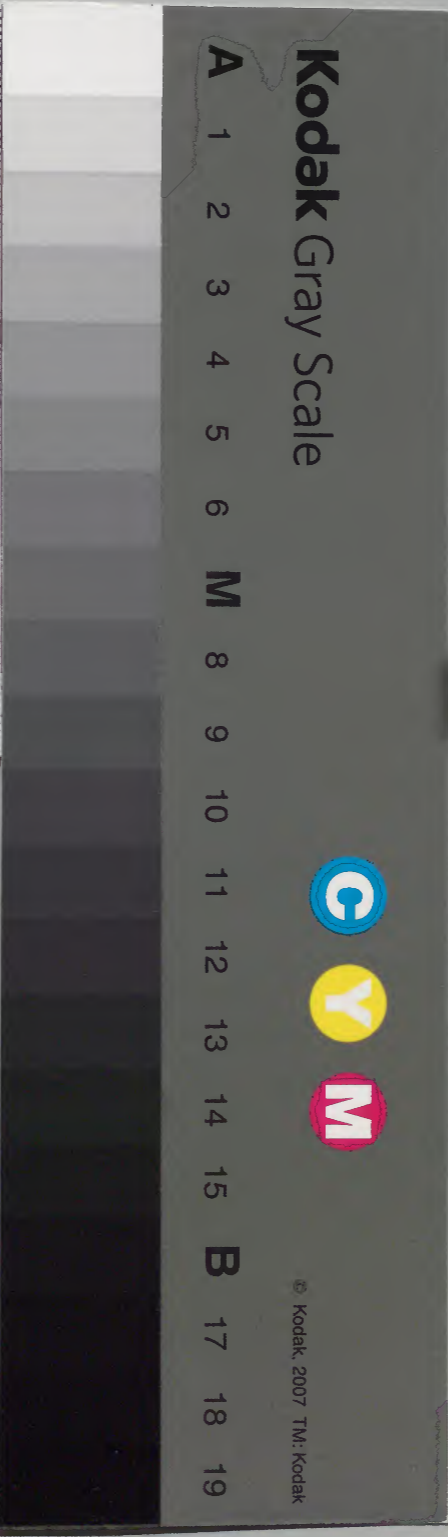
器周

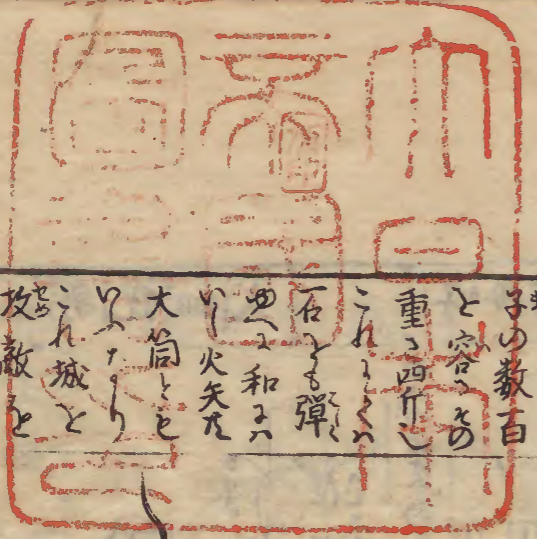
內閣文庫		
和	一	二
書	一	三
類	四	號
	冊	架
	五	冊
	三	架
	二	架
	一	架

太政官文庫		
和	一	二
書	一	三
門	四	號
	冊	架
	七	冊
	〇	架
	一	冊
	五	冊

內閣文庫	
番號	和 11134
冊數	15 (10)
函號	184 360

典故





唐土訓蒙圖彙卷之九

器用之三

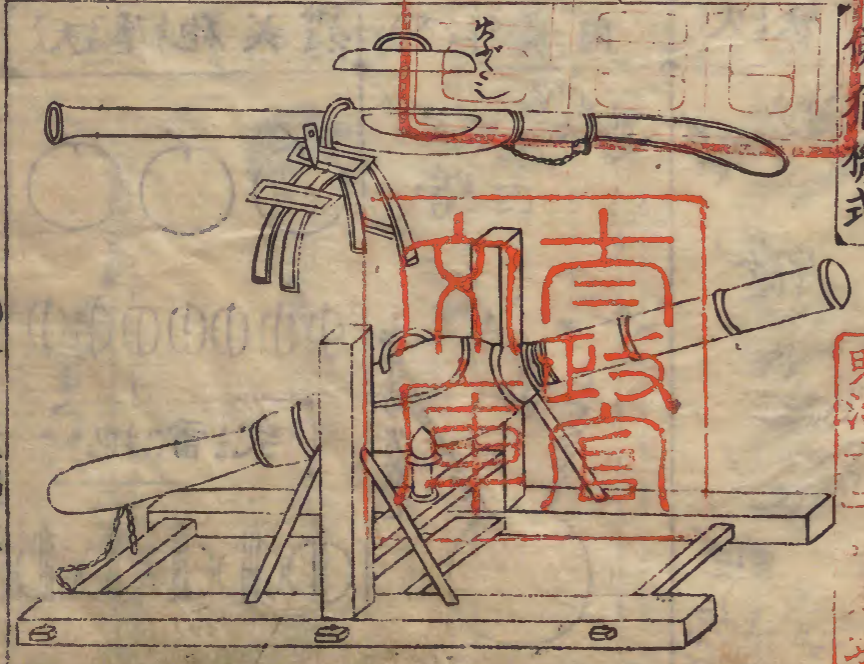
重辰天雷

兵器部

此器重五百斤鉛子之數百と容の重四斤石も彈也和の火矢大筒と城と攻敵と利



佛狼機式



明治十二年

唐土訓蒙圖彙卷之九

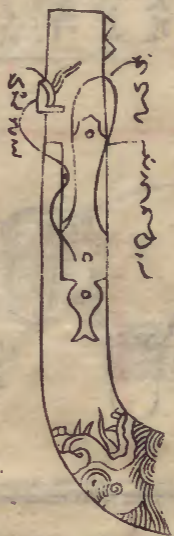
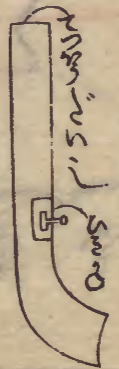
二四

鳥嘴砲

唐二時... 鳥嘴砲



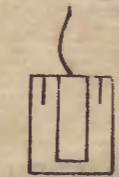
鳥銃細式



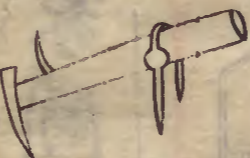
わづの火の筒

柄

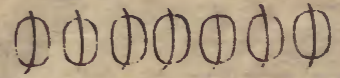
母仔砲



高筒砲



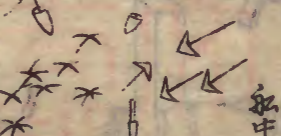
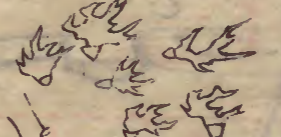
天堡砲式



地雷式

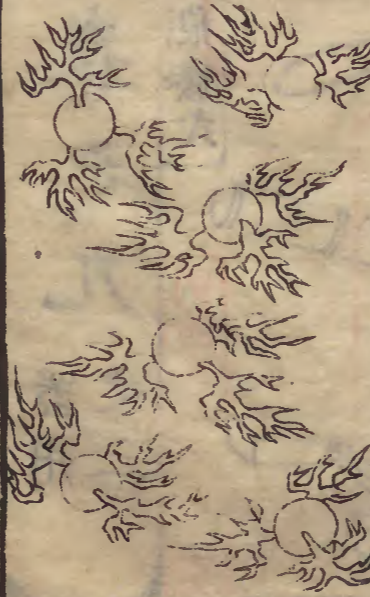


大蜂窠圖

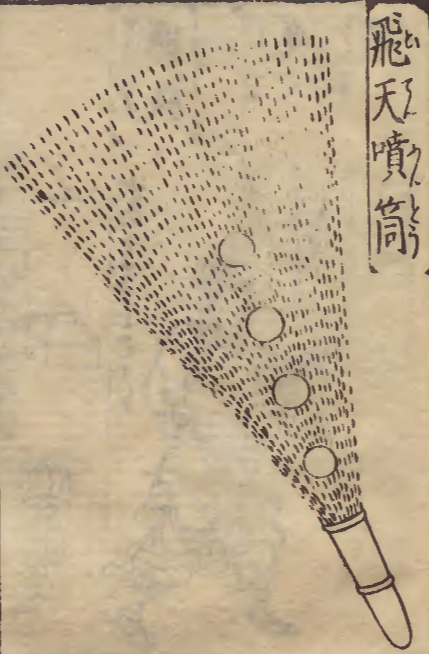


軍中の火器

火妖圖式



飛天噴筒



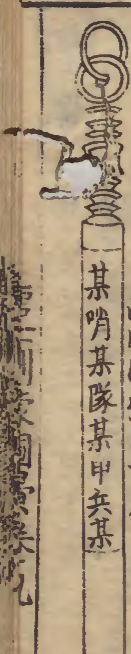
毒多しのり

兩廣藥箭

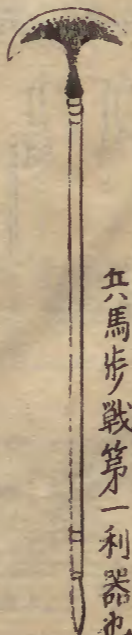


脚杖圖

竹の杖四寸一六分なり
或ハ圓板一代てのりの
此間に姓名とあるは
某哨某隊某甲兵某

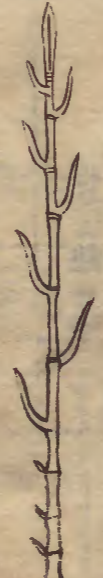


天蓬鐘式

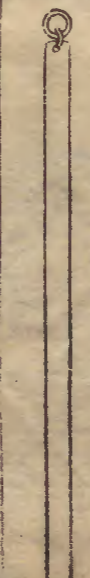


内外皆鋒刀 横長二尺柄
長八九尺或一丈一
兵馬歩戰第一利器也

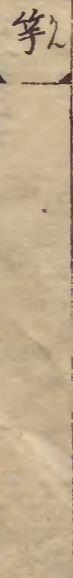
籬笊



棍式



鉤



對子斧



叉

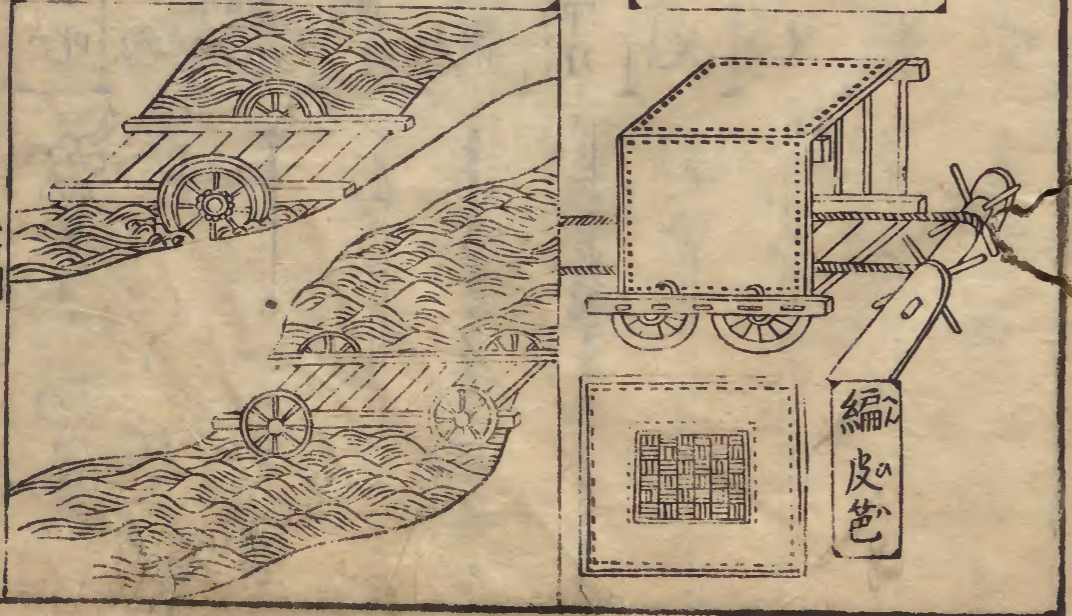


地^ち道^{みち} 城^{しろ}と^と 旗^{はた}と^と 上^{かみ}頭^{あたま}車^{くるま} 風^{かぜ} 屏^{びん} 具^ぐ 城^{しろ}を^を 車^{くるま} 頭^{あたま} 器^き 用^{もち} 器^き 用^{もち} 旗^{はた}と^と 上^{かみ}頭^{あたま}車^{くるま}

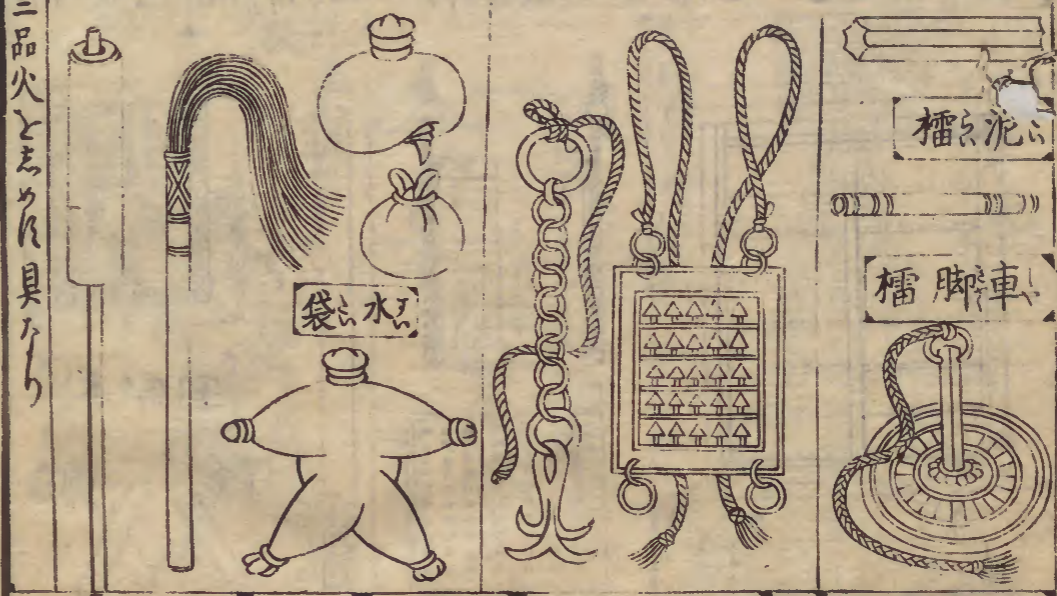


壕^ほ 橋^{はし} 兩^{りやう} 格^{かく} 接^{せつ} 用^{もち} 三^{さん}

掛^か 搭^た 緒^お 棚^{たな}

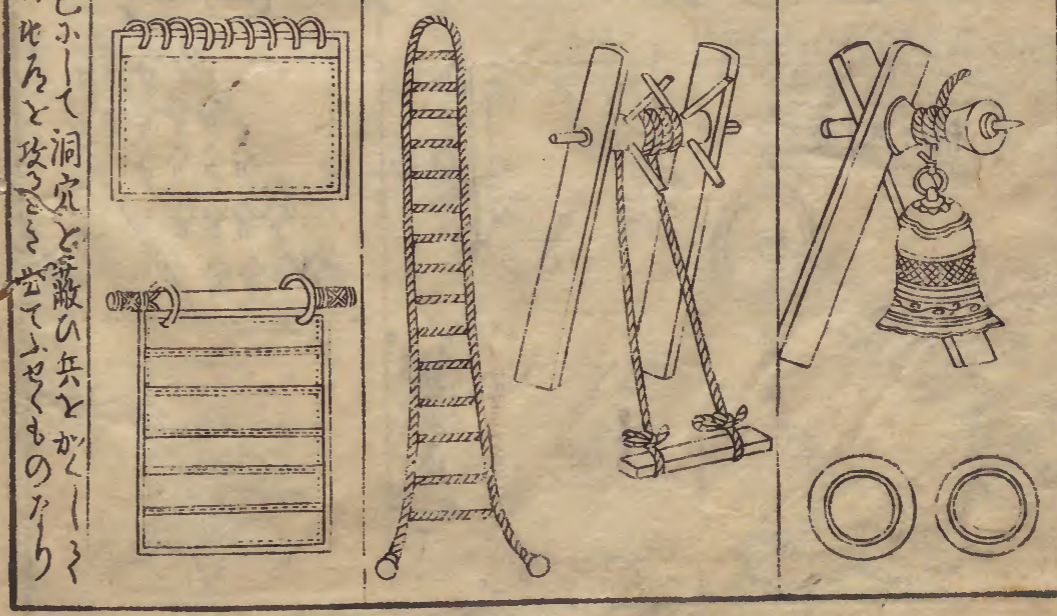


擗^ひ 擗^ひ 拍^{はく} 牙^が 狼^{ろう} 拍^{はく} 牙^が 狼^{ろう} 飛^と 鉤^{かぎ} 水^{みづ} 囊^{ふくろ} 麻^{あし} 搭^た 唎^{れい} 筒^{つつ}



下^{した} 城^{しろ} 絞^{しぼ} 車^{くるま} 繩^{なわ} 梯^{はし} 波^{なみ} 簾^{すだれ} 種^{たね} 簾^{すだれ}

鐵^{てつ} 撞^つ 木^き



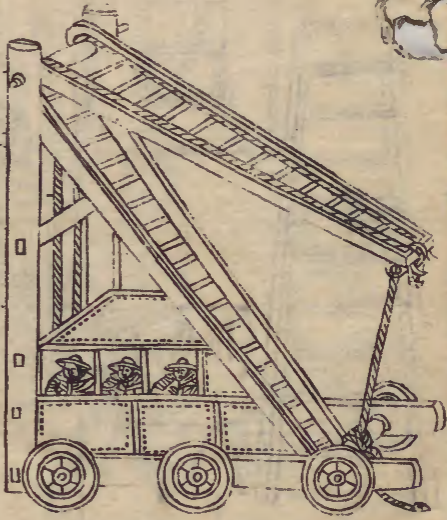
軍器圖考

三

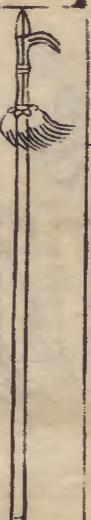
軍器圖考

三

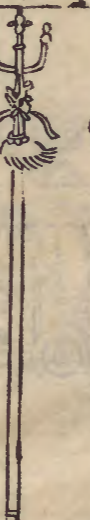
雲梯
くもの
はし
飛梯
この
頭
の
数



鉤鎌



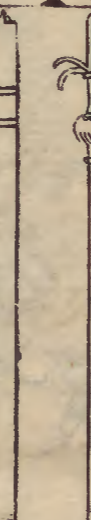
鉄骨朵



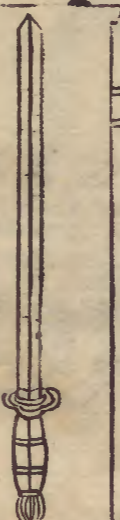
留客住



請人拔



鑑



龍吐



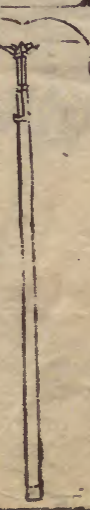
梅叱



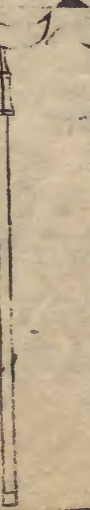
星鋸



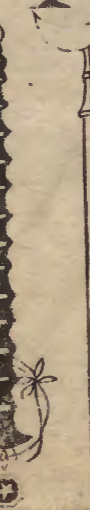
内月牙



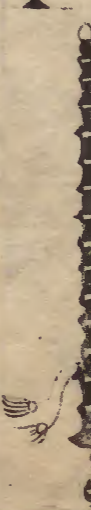
外月牙



鋼鞭



二節刀



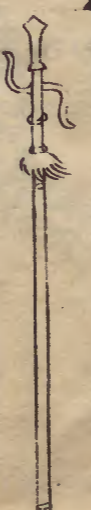
文叉



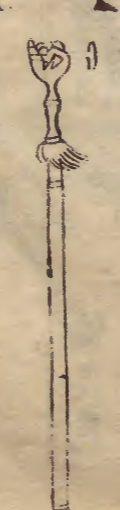
武叉



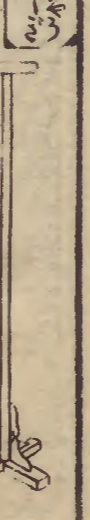
銅拳



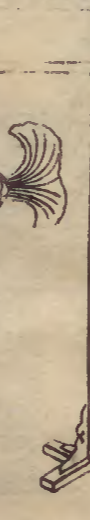
柁結



柳



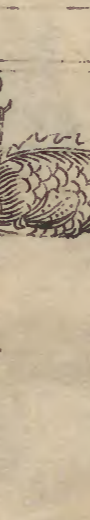
柳ハ昂ラ



重門撃拵



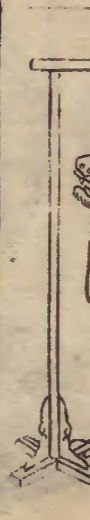
以待暴客



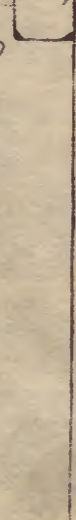
と戦之更



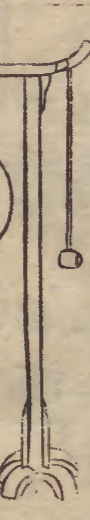
者も同



典鐘



唐六典皆



鐘を撃



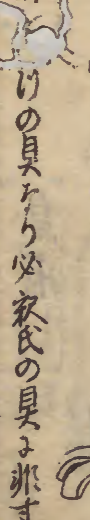
大史門



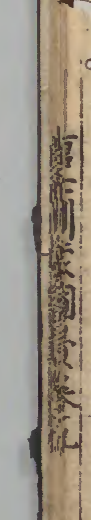
典鐘あり



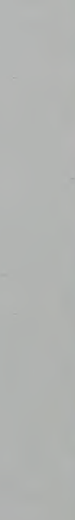
二百八十



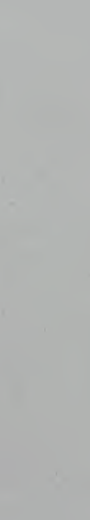
撃編鐘



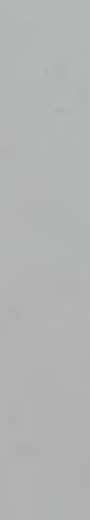
と堂



柳典



陸



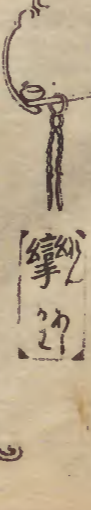
旋



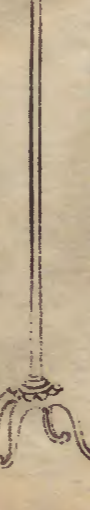
書燈



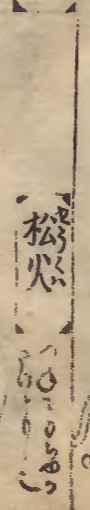
松火



影燈



葛燈籠



影燈



影燈



影燈



影燈



影燈



影燈



影燈



影燈

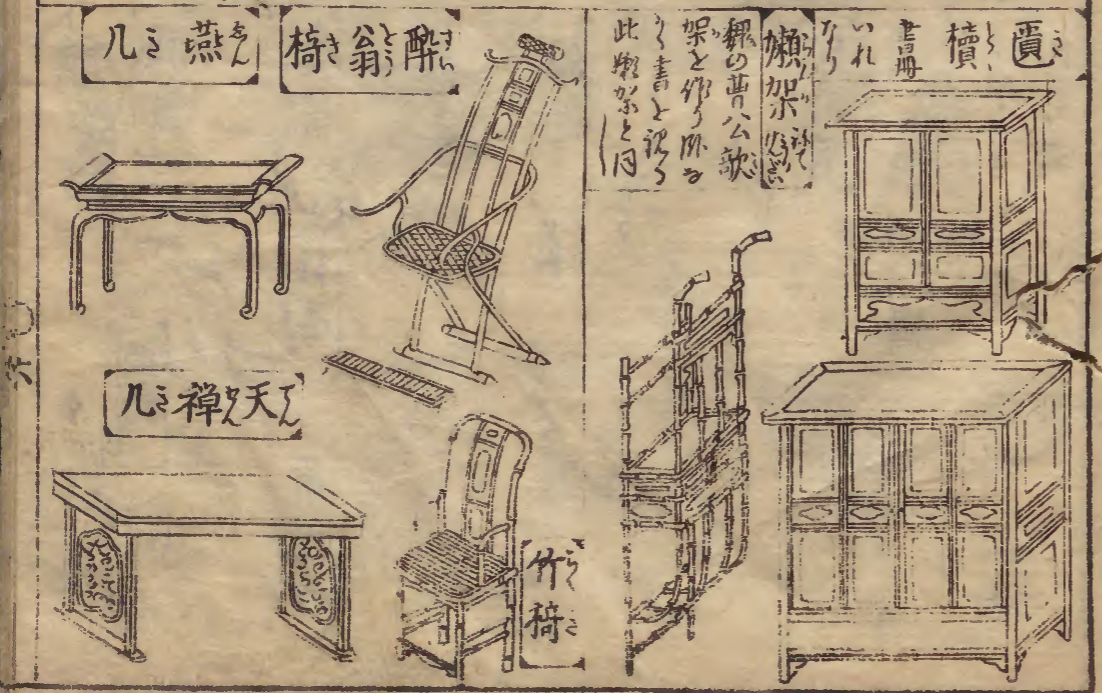


影燈



影燈







桑梯さうでい



桑織類さうじ
桑兒さうじ



桑網さうあみ



斫斧さくほ 桑鉤さうこう 桑籠さうろう 切刀きりば 剃刀かみば

桑の枝さうのえ 斧ほ



桑糸さういと 桑刀さうば



帳床ちやうど



鏡里きやうり

倒甕氣たうそうき

一名海水精
和名水精
北条水
水と合て
硝子の氣
別名なり
佛昂瓷瓦
わりのうら



酒旗さけのぼり

臺盤たいばん

大極尊たいごくそん

葫蘆樽かろすん

偏提へんてい

茶瓶ちやびん

盆瓦老ぼんわらう

棕將軍そうげん

鏢ひょう

貝光祿かいこうろく

ものじやう

上同

瓢杯ひょうはい

銅杓どうしやく

蠶植のついでにみづひなをといふも
いづれなり



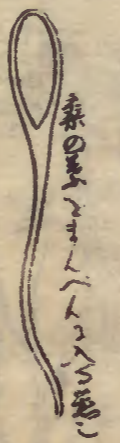
蠶椽

蠶椽は蠶の泊と架け長一丈二尺に
椽と五月すう器なり

蠶筐



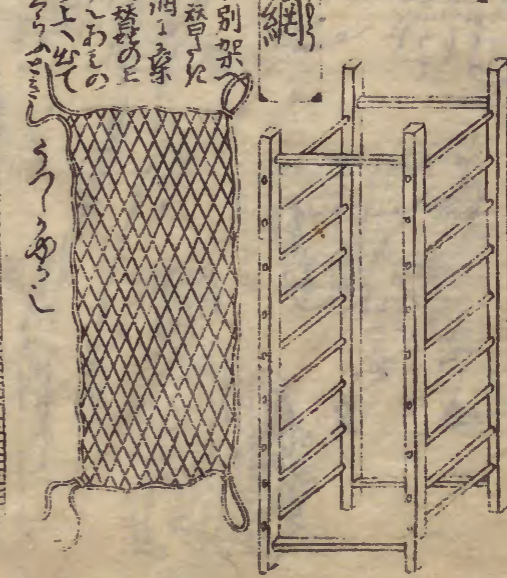
蠶杓



唐土訓蒙圖彙卷九

七

蠶加 蠶網



蠶網 別架
うづり 管
四の酒と糸
と入る 管のE
と入る 管のE
まじり 上
まじり 上

蠶箔



蠶架

蠶椽の中
同じく
長三尺
五尺



九

蠶籠

蠶籠とは
うづり
對とさ
桐の葉と
籠に入れ
一斗とさ
十斗に
二斗とさ
封して七
日の後
五斗に



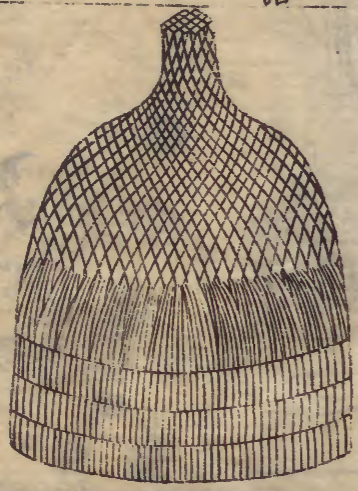
蠶籠

蠶籠は
蒸籠
とさ
あて
ひん
うづり
とさ
ろこ
能く
しん
おに



蠶竹族

蠶竹族
高梢葉柴
ついでに
てか
圓号の
く
ついでに
造や
の
圓



北練車

練車に
南北の
図彙
故
北
あ

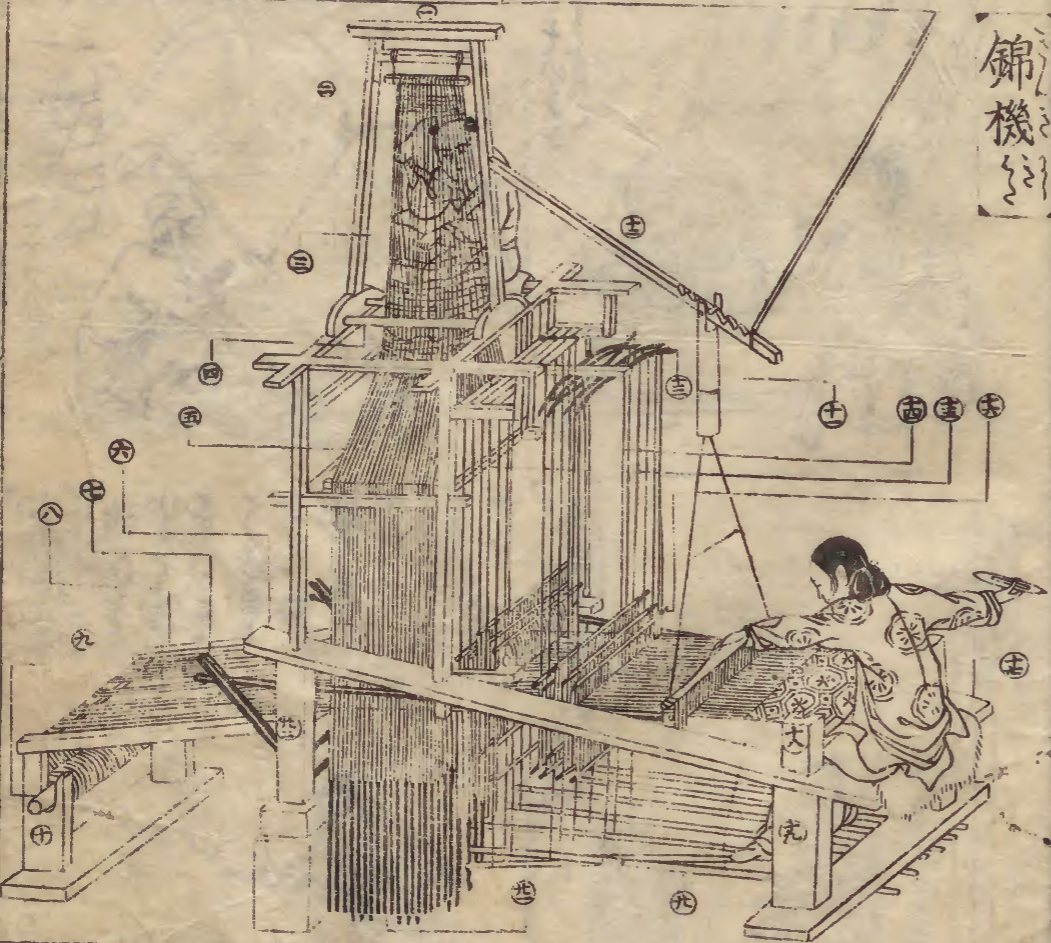


唐土訓蒙圖彙卷九

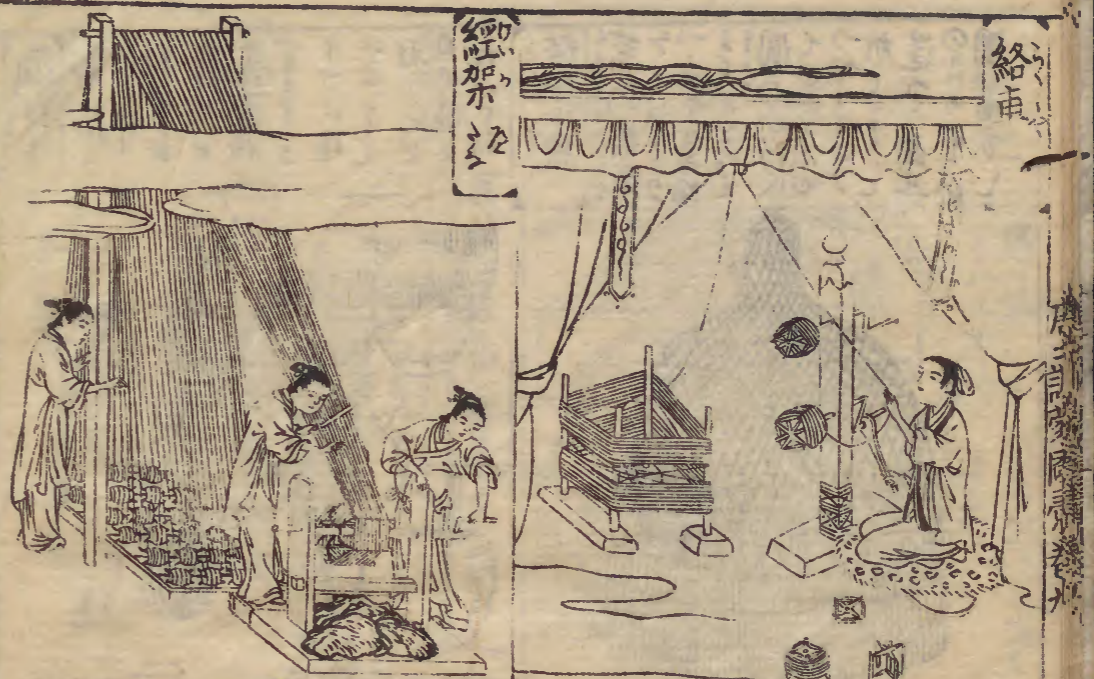
一 トリキ
ニ モンキ
三 スンキ
四 ロクノ
五 ヘダナ
六 キジウス
七 ヒキエ
八 シツギ
九 チキリ
十 ハジカミ
十一 フサツリ
十二 ヤリフサ
十三 ユニ
十四 ムノリ
十五 キバタ
十六 フグセ
十七 シキイタ
十八 チーキ
十九 ヘツタ
二十 フミダケ
二十一 イワ
二十二 カツク

機具相立

錦機



それ機を
いしませ帝
の後始て織
一糸とす
一の織
の功と遂ま
それなり
うさ子
一のさ
たの機ハ人
多く機織
しつは代ハ
若して二人
と利の機
を織しけ
機と利の
機工と求
人けわ文乃
和名よて
へ



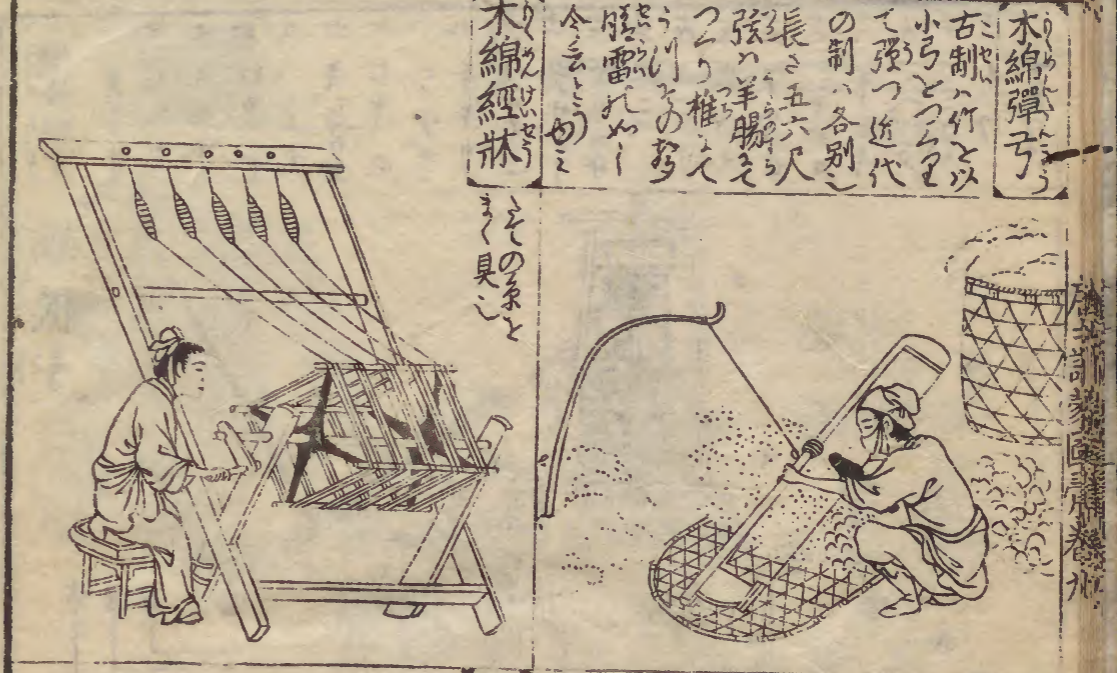
紡車

織機

凡 替織の類々具々れつ多
おの利家園彙のせれとい
らうそのものととのせ
好事の人々

綿知
つじ具
竹交
尾

養父紫滑車
養父の
灰湯
へて
つきて
波して
らして
りて



箕車

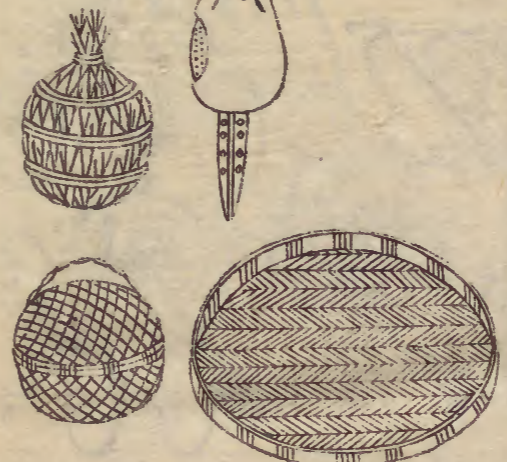
こひまき
りらゆふ
具し



曬船

瓠種

種篋



蓐馬

田の畔と時
こまき衣の
そとこまき具し



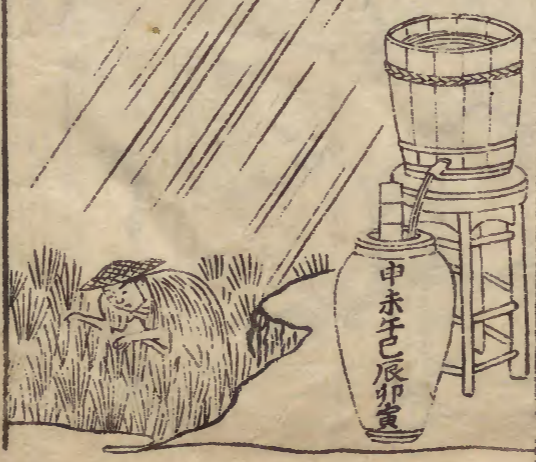
秧馬

泥田に秧を
うゆつて
のこものこ

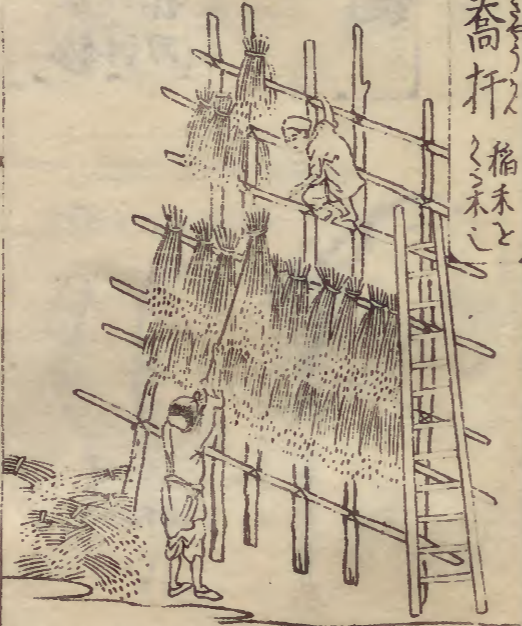


田漏

農家
て内刻と
うろ器
其制壺
かきと
刻ひと
いし壺水
下
うろ水
新て
とたハ
わつ



喬杆
楢木と



夾笥

楢夾タ
とうら
加ホ



攪糶篋

いねこまき
う



竹師穀笥

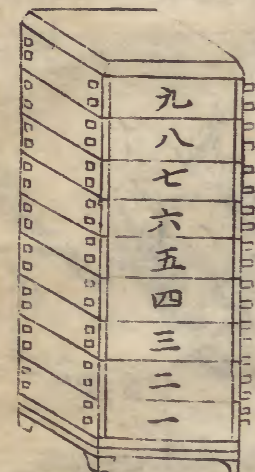


穀

積たまり 草くさ

夾くわ 龍りゅう

綿わた 麥むぎ

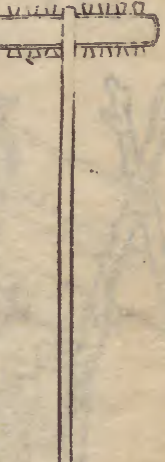
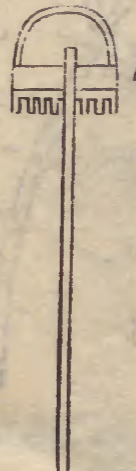
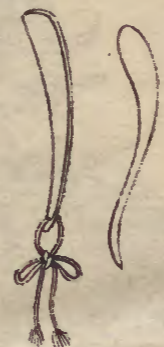


鋤

麥むぎ 鋤くわ

耘くみ 把へ

穀こく 把へ



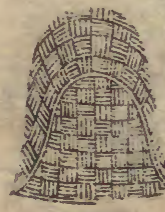
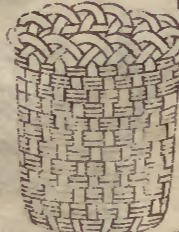
籃らん 賜み

篋けつ

篋けつ 維い

篋けつ

篋けつ 五ご 子こ

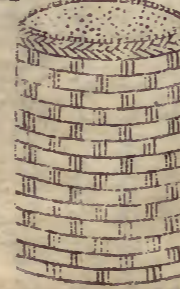


漚あわ 木き 敷しき

籐とう



籠かご



團だん

上かみ 同どう

抄せう 竿さん

倒たふさ 麦むぎ 具ぐ

拖せ 把へ

秧えい 彈だん

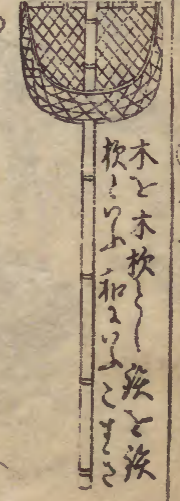
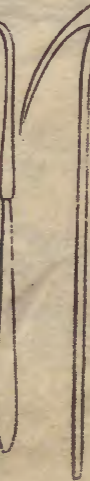
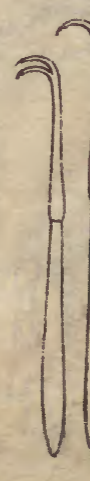
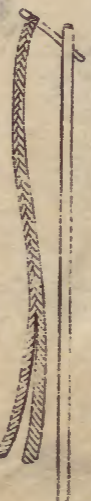
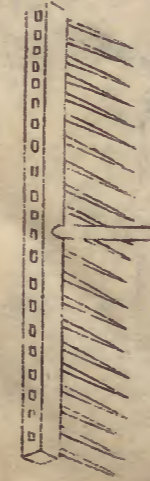
穀こく 出しゅつ

呼こゝろ 鞭むち

搭たつ 爪つめ

禾こゝろ 鉤かぎ

竹たけ 揚あがり 杖つゑ



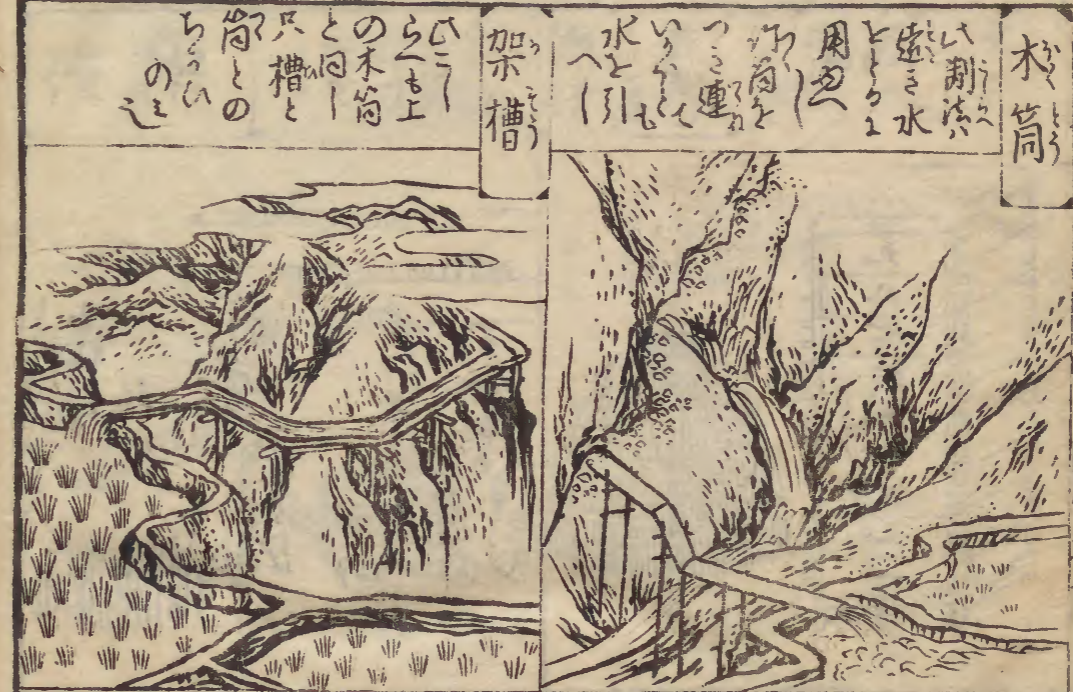
木き と 木き 杖つゑ 一ひと 段だん と 茨いばら と 茨いばら と 茨いばら と 茨いばら と

水筒

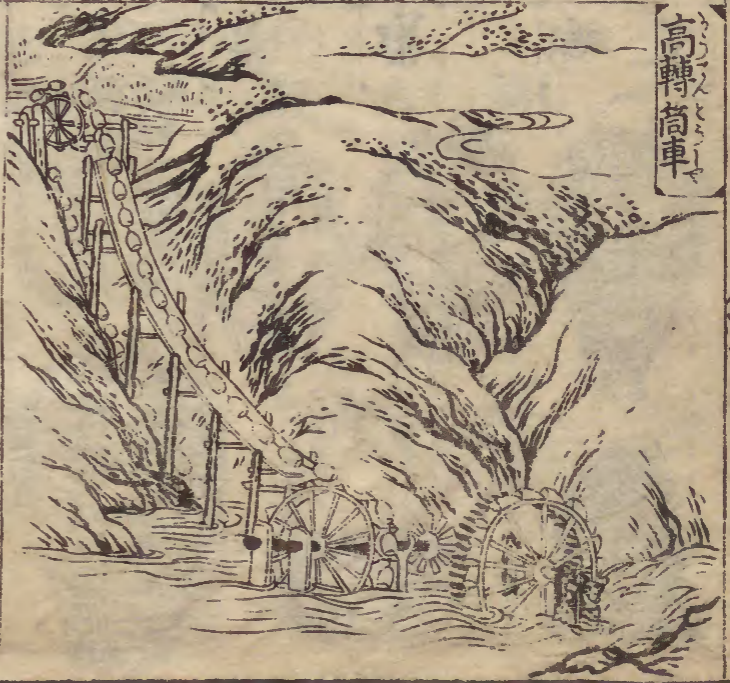
此制ハ
流水の
岸邊
の
水
の
勢
を
用
ひ
て
水
を
上
へ
引
上
げ
る
事
に
用
ふ
る
水
筒
の
名
也
水
筒
の
形
は
上
へ
引
上
げ
る
水
の
勢
を
用
ひ
て
水
を
上
へ
引
上
げ
る
事
に
用
ふ
る
水
筒
の
名
也

加木槽

此制ハ
流水の
岸邊
の
水
の
勢
を
用
ひ
て
水
を
上
へ
引
上
げ
る
事
に
用
ふ
る
水
筒
の
名
也



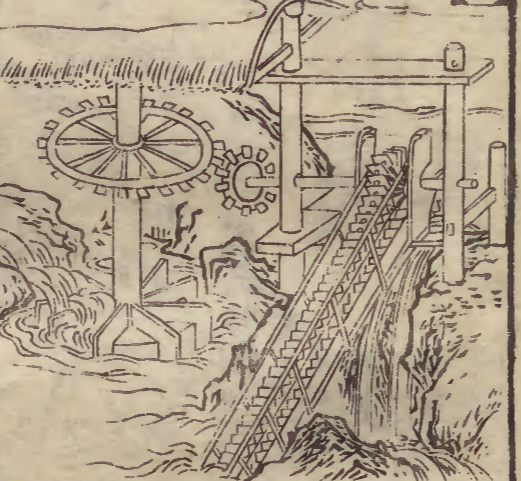
高轉筒車



此制ハ
流水の
岸邊
の
水
の
勢
を
用
ひ
て
水
を
上
へ
引
上
げ
る
事
に
用
ふ
る
水
筒
の
名
也

水轉翻車

此制ハ
流水の
岸邊
の
水
の
勢
を
用
ひ
て
水
を
上
へ
引
上
げ
る
事
に
用
ふ
る
水
筒
の
名
也



牛曳水車

此制ハ
流水の
岸邊
の
水
の
勢
を
用
ひ
て
水
を
上
へ
引
上
げ
る
事
に
用
ふ
る
水
筒
の
名
也



筒輪

此制ハ
流水の
岸邊
の
水
の
勢
を
用
ひ
て
水
を
上
へ
引
上
げ
る
事
に
用
ふ
る
水
筒
の
名
也



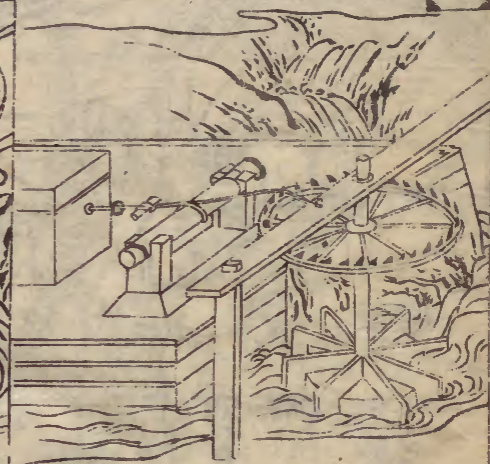
刮車

此制ハ
流水の
岸邊
の
水
の
勢
を
用
ひ
て
水
を
上
へ
引
上
げ
る
事
に
用
ふ
る
水
筒
の
名
也



水打薙

此具水
隨て用
麵と餅
人力の及
而わす
様巧下の
水車と
同



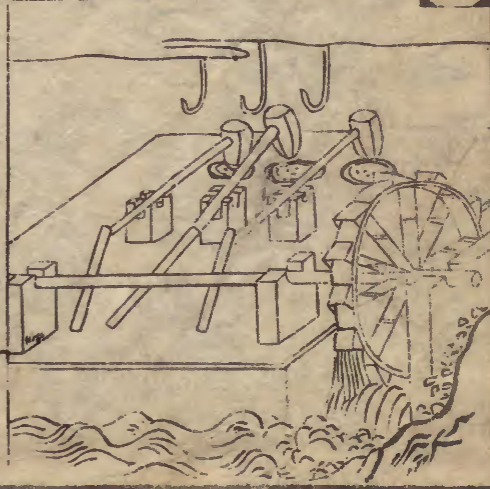
水排

水勢を
火と水
水たらし
制は固
あへし



水碓

連機碓
水勢
かすす
晋の石崇
家水碓
十區り
いふ



水碓



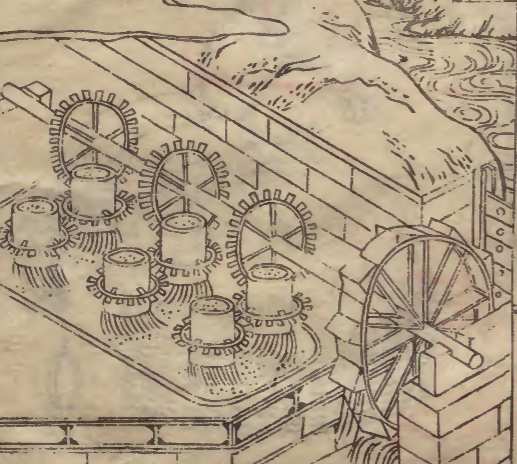
水磨

此磨と
像し水と
うもこの
て轉す



水轉連磨

此制陸
連磨と
急流大
1用故
輪軸
合抱
つらん
輪の
呆の



龍石圖

礪穀器
穀設
去器
竹を編
おろし
馬と轉
これ人
力との
まぬ



石轉

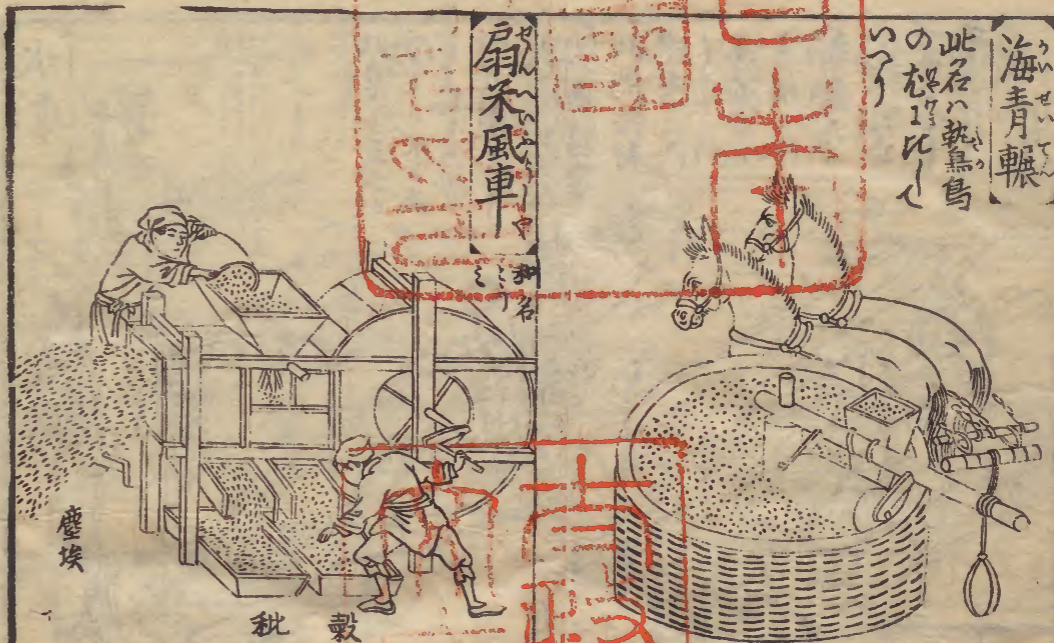
りとし
礪と
つらん
輪軸を
立て石
とつぬ
おのろ
おのろ
用へし



海青輓

此石の熱鳥の
のねり比し
い

風車



颯風飛

和のいせへんくとうじ

一系と財はつひに漢書曰揚雄無
澹石之儲晋劉勰叔家無倍石
之儲一應劭曰森人名豐受二解

